

3.2. 自然的状況

3.2.1. 大気質、騒音、振動、悪臭、気象等の状況

1) 気象

(1) 気温・降水量

幸手市の過去 10 年間（平成 12～21 年）における年別の平均気温・降水量は表 3.2.1-1 に、平成 21 年の月別の降水量・平均気温は、表 3.2.1-2 および図 3.2.1-1 に示すとおりである。

幸手市消防本部の消防統計によれば、幸手市の平成 21 年の年平均気温は 15.5 、年間降水量は 1,249.5mm であり、過去 10 年間で記録された平均気温・降水量と同程度となっている。また、平成 21 年における最低気温は-3.8（1 月）であり、最高気温は 36.3（7 月）を記録している。

表 3.2.1-1 幸手市の過去 10 年間の気温・降水量（平成 12～21 年）

項目	平成 12 年	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
気温（℃）	15.6	15.2	15.4	14.8	16.0	14.9	15.2	15.8	15.3	15.5
湿度（％）	64.7	67.9	65.1	59.3	71.7	71.0	72.1	69.0	69.4	67.3
降水量（mm）	1,326.0	1,143.5	1,220.5	1,181.5	1,483.0	1,187.5	1,552.0	1,135.5	1,459.5	1,249.5

注）降水量は年間総雨量。その他は平均。

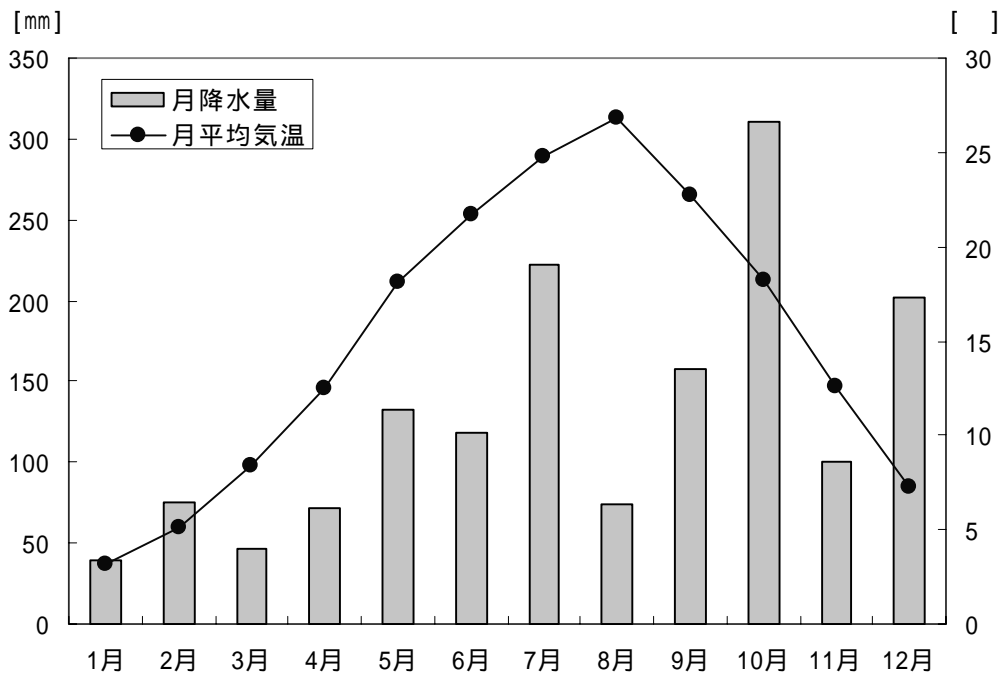
資料：「消防統計 平成 22 年度版」（平成 22 年 10 月、幸手市消防本部）

表 3.2.1-2 幸手市の降水量・気温（平成 21 年）

月	気温（℃）			月平均湿度（％）	月降水量（mm）
	最高	最低	月平均		
1 月	15.3	-3.8	4.9	62.0	120.0
2 月	22.7	-1.9	6.0	61.9	33.0
3 月	23.8	-0.5	8.7	58.9	76.0
4 月	26.8	3.6	14.7	61.3	101.0
5 月	30.9	10.1	19.7	65.1	95.0
6 月	34.4	13.3	22.0	72.9	120.5
7 月	36.3	19.6	26.0	72.0	85.5
8 月	33.0	17.0	25.6	73.0	191.5
9 月	30.1	14.9	22.3	67.6	13.5
10 月	26.4	10.6	17.6	70.5	242.5
11 月	26.2	2.0	11.8	72.4	110.0
12 月	17.3	-2.2	7.1	65.1	61.0
平均、合計	36.3 （年平均）	-3.8 （年平均）	15.5 （年平均）	66.9 （年平均）	1,249.5 （年合計）

注）観測場所は、市役所・本署である。

資料：「消防統計 平成 22 年度版」（平成 22 年 10 月、幸手市消防本部）



注) 観測場所は、市役所・本署
 資料: 「消防統計 平成 22 年度版」(平成 22 年 10 月、幸手市消防本部)

図 3.2.1-1 幸手市の降水量・気温 (平成 21 年)

(2) 風向・風速

幸手市の月別の風向・風速は、表 3.2.1-3 に示すとおりである。

幸手市消防本部の消防統計によれば、幸手市の平均風速については月別の変動は小さく、年平均は 2.5m/s で、最大は南 27.9 m/s (10 月) となっている。

表 3.2.1-3 幸手市の風向・風速（平成 21 年）

月	風向・風速(m/s)		
	平均風速	最大	
		風向	風速
1月	2.9	WNW	27.8
2月	2.9	NW	26.9
3月	3.3	WNW	26.3
4月	2.8	WNW	21.5
5月	2.6	W	22.2
6月	2.2	NNE	17.3
7月	2.1	SSE	14.7
8月	2.1	N	15.6
9月	2.0	W	14.5
10月	2.3	S	27.9
11月	1.9	NNE	16.7
12月	2.5	WNW	21.2
年平均	2.5	-	-

注) 観測場所は、市役所・本署である。

資料：「消防統計 平成 22 年度版」(平成 22 年 10 月、幸手市消防本部)

2) 大気質

計画地及びその周辺には、表 3.2.1-4、図 3.2.1-2 に示す大気測定局があり、大気質の状況を測定している。

表 3.2.1-4 計画地周辺の大気測定局

測定局区分	測定局名	所在地	測定項目								
			二酸化硫黄	浮遊粒子状物質	二酸化窒素	光化学オキシダント	炭化水素	一酸化炭素	風向風速	温度湿度	日射量
一般環境大気測定局	幸手	幸手市幸手 2262 (市所有地)									
	久喜	久喜市江面 85 (久喜南中学校)									
自動車排出ガス測定局	久喜本町	久喜市本町 7-913-1 (市所有地)									

注 1) 久喜及び久喜本町は図の表示範囲外である。

資料：「測定項目一覧」(埼玉県の大気状況 HP)

(1) 二酸化窒素

計画地及び周辺の大気測定局の二酸化窒素測定結果は、表 3.2.1-5 に示すとおりである。

3 測定局の結果とも環境基準（1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること）を達成している。

表 3.2.1-5 二酸化窒素の測定結果（平成 22 年度）

測定局区分	測定局名	年平均値 (ppm)	日平均値の 年間 98%値 (ppm)	環境基準 達成： 未達成：×
一般環境 大気測定局	幸手	0.014	0.027	
	久喜	0.018	0.037	
自動車排出 ガス測定局	久喜本町	0.030	0.047	

注 1) 久喜及び久喜本町は図の表示範囲外である。

資料：「常時監視測定データ」(埼玉県の大気状況 HP)

(2) 浮遊粒子状物質

計画地周辺の大気測定局の浮遊粒子状物質測定結果は、表 3.2.1-6 に示すとおりである。

3 測定局の結果とも環境基準（長期的基準：日平均値の 2%除外値が 0.10mg/m³以下、短期的基準：1 時間値の最高値が 0.20mg/m³以下）を達成している。

表 3.2.1-6 浮遊粒子状物質の測定結果（平成 22 年度）

測定局区分	測定局名	年平均値 (mg/m ³)	日平均値の 2%除外値 (mg/m ³)	環境基準 達成： 未達成：×	
				長期的評価	短期的評価
一般環境 大気測定局	幸手	0.030	0.064		
	久喜	0.021	0.052		
自動車排出 ガス測定局	久喜本町	0.024	0.057		

注 1) 久喜及び久喜本町は図の表示範囲外である。

資料：「常時監視測定データ」(埼玉県の大気状況 HP)

(3) 苦情の状況

苦情件数は、表 3.2.1-7 及び図 3.2.1-3 に示すとおりである。

幸手市の大気汚染に関する苦情件数は 0 件であり、久喜市は 43 件、杉戸町は 17 件、五霞町は 1 件であった。

なお、大気汚染に関する苦情の大半は野外焼却（適切な焼却施設を用いなくて、廃棄物を直接焼却する行為）や小型焼却炉の使用に対するものである。

表 3.2.1-7 計画地周辺市町における苦情件数

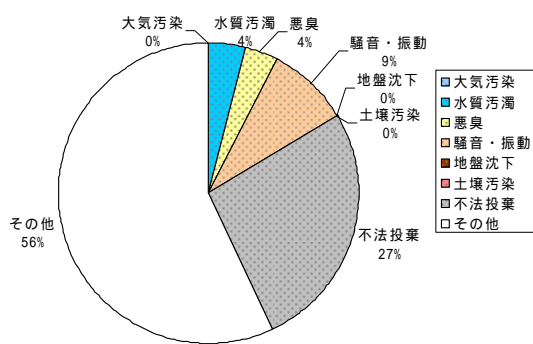
市 町	大気汚染	水質汚濁	悪臭	騒音・振動	地盤沈下	土壌汚染	不法投棄	その他	合計
幸手市	0	3	3	7	0	0	21	45	79
久喜市	43	3	25	20	0	0	83	12	186
杉戸町	17	6	10	11	0	0	3	56	103
五霞町	1	1	9	0	0	0	19	131	161

注 1) 幸手市については、幸手市環境課へのヒアリングによる平成 22 年度の情報である。

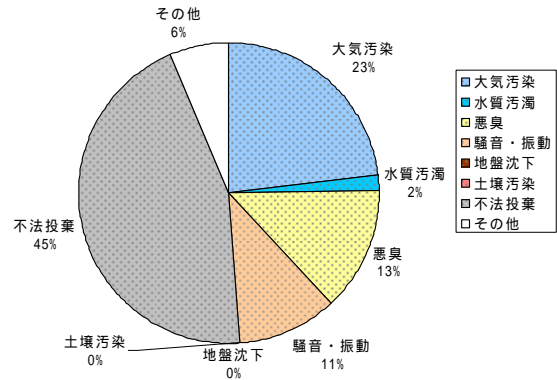
注 2) 久喜市については、久喜市環境管理課へのヒアリングによる平成 22 年度の情報である。

注 3) 杉戸町については、杉戸町役場環境課へのヒアリングによる平成 22 年度の情報である。

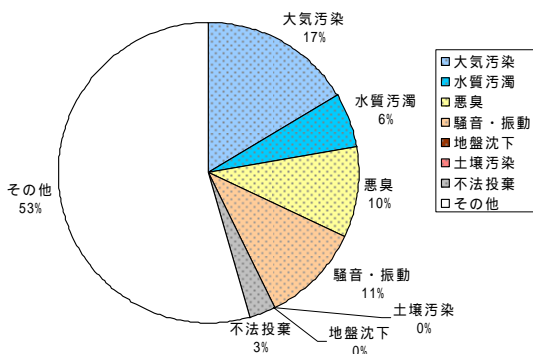
注 4) 五霞町については、五霞町役場建設環境課へのヒアリングによる平成 22 年度の情報である。



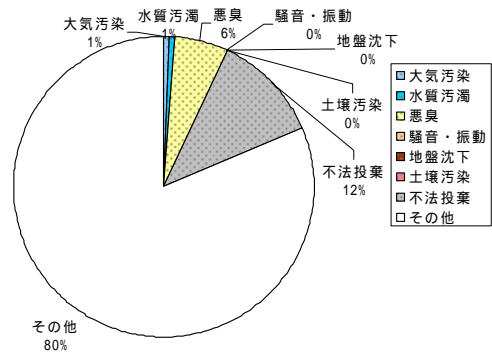
幸手市 (平成 22 年度)



久喜市 (平成 22 年度)



杉戸町 (平成 22 年度)



五霞町 (平成 22 年度)

図 3.2.1-3 苦情件数の割合

3) 騒音

(1) 騒音の状況

計画地及びその周辺の主要幹線道路沿道の道路交通騒音測定結果は、表 3.2.1-8 に示す国道 4 号の 1 箇所である（測定地点は図 3.2.1-4 参照）

環境基準は、昼間は達成しているが夜間は達成していないという状況である。

表 3.2.1-8 騒音測定結果

路線名	測定地点 の住所	環境基準 類型	車線数 合計	幹線道路 の近接区 間	測定開始 年月日	測定終了 年月日	等価騒音レベル (dB)				環境基準 適合状況	交通量 (台/10分)	
							昼間	環境基準 達成	夜間	環境基準 達成		昼間	夜間
国道 4 号	幸手市大字 内国府間 798	B	2		1/22	1/23	69		67	×	×	221	46
県道 幸手久喜線 注 3)	久喜市北	A	2		12/2	12/3	67		63			-	-

注 1) 車線数は上下線の合計を示す。

注 2) 時間の区分は、昼間を午前 6 時から午後 10 時までの間とし、夜間を午後 10 時から翌日の午前 6 時までの間とする。

注 3) 県道幸手久喜線は図の表示範囲外である。

注 4) 国道 4 号は平成 19 年度、県道幸手久喜線は平成 21 年度の結果である。

資料：「平成 19 年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」(埼玉県環境部水環境課)

「平成 21 年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」(埼玉県環境部水環境課)

(2) 苦情の状況

幸手市における騒音・振動に関する苦情件数 7 件であり、苦情全体の約 9%を占めている（表 3.2.1-7 及び図 3.2.1-3 参照）。なお、久喜市は 20 件、杉戸町は 11 件、五霞町は 0 件であった。

なお、騒音に関する苦情の多くは、工事現場や事業所からの騒音、特に早朝や夜間の騒音に対するものである。

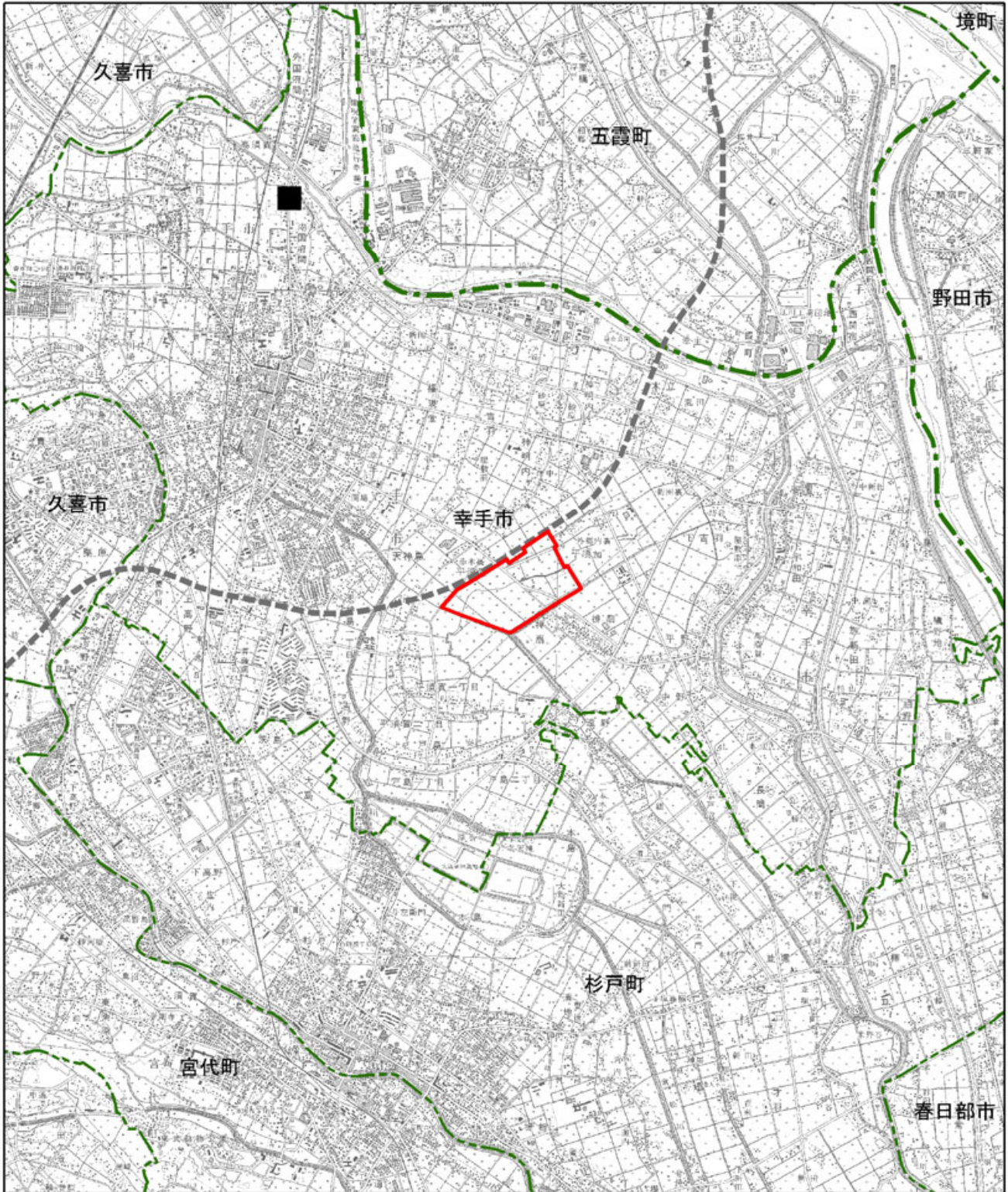


図 3.2.1-4 騒音測定地点

凡例

- 計画地
- 県境界
- 各市町村の行政界
- 圏央道(計画)
- 騒音測定地点

資料：「平成19年度 自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」
(埼玉県環境部水環境課)

1:50,000



本図は、国土地理院発行数値地図 25000(地図画像)久喜、宝珠花、栗橋、下総境を使用している。

4) 振動

(1) 振動の状況

計画地及びその周辺の主要幹線道路沿道の道路交通振動測定結果は、表 3.2.1-9 に示すとおりである。

要請限度との比較において、測定結果は基準値を達成している。

表 3.2.1-9 振動測定結果

路線名	測定地点 の住所	区域 区分	車 線 数 合 計	測 定 開 始 月 日	測 定 終 了 月 日	振動 レベル		交通量 (台/10分)	
						昼 間	夜 間	昼 間	夜 間
県道 幸手久喜線	久喜市北	第1種 区域	2	12/2	12/3	42	35	-	-

注1) 車線数は上下線の合計を示す。

注2) 時間の区分は、昼間を午前8時から午後7時までの間とし、
夜間を午後7時から翌日の午前8時までの間とする。

資料：「平成21年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」(埼玉県環境部水環境課)

(2) 苦情の状況

幸手市における騒音・振動に関する苦情件数7件であり、苦情全体の約9%を占めている(表 3.2.1-7 及び図 3.2.1-3 参照)。なお、久喜市は20件、杉戸町は11件、五霞町は0件であった。
なお、振動のみの苦情は少なく、騒音と関連している場合が多くを占めている。

3.2.2. 水質、底質、水象等の状況

1) 水質

(1) 水質の状況

a) 河川

計画地近傍を流れる中川（道橋、行幸橋）、大落古利根川（杉戸古川橋）、利根川（栗橋）、江戸川（関宿橋）の測定地点の概要は表 3.2.2-1 に、測定地点は図 3.2.2-1 に示すとおりである。

中川（行幸橋、道橋）、大落古利根川（杉戸古川橋）の環境基準の類型は C であり、利根川（栗橋）、江戸川（関宿橋）の環境基準の類型は A である。

これらの地点における水質測定結果（平成 21 年度の生活環境項目の 75% 値）は表 3.2.2-2 に示すとおり、利根川（栗橋）及び江戸川（関宿橋）において大腸菌群数が環境基準を達成していないが、その他の項目については環境基準を達成している。

なお、健康項目については全ての地点で環境基準を達成している。

表 3.2.2-1 測定地点の概要

番号	河川名	測定地点	所在地	類型	測定機関
1	利根川	栗橋	茨城県古河市 久喜市	A	国土交通省
2	中川	道橋	加須市	C	埼玉県
3	中川	行幸橋	幸手市	C	埼玉県
4	江戸川	関宿橋	千葉県野田市 幸手市	A	国土交通省
5	大落古利根川	杉戸古川橋	杉戸町	C	埼玉県

注 1) 栗橋及び道橋は図の表示範囲外である。

資料：「平成 21 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」
（平成 23 年 4 月、埼玉県環境部水環境課）

表 3.2.2-2 水質測定結果（生活環境項目）

番号	測定地点	水素イオン濃度(pH)	生物化学的酸素要求量(BOD)	浮遊物質(SS)	溶存酸素量(DO)	大腸菌群数
		-	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
1	栗橋	7.7 (6.5 以上 8.5 以下)	2.0 (2 以下)	13 (25 以下)	9.0 (7.5 以上)	7,900 (1000 以下)
2	道橋	7.5 (6.5 以上 8.5 以下)	3.2 (5 以下)	19 (50 以下)	7.0 (5 以上)	- (-)
3	行幸橋	7.5 (6.5 以上 8.5 以下)	2.9 (5 以下)	25 (50 以下)	6.8 (5 以上)	- (-)
4	関宿橋	7.7 (6.5 以上 8.5 以下)	1.7 (2 以下)	11 (25 以下)	8.8 (7.5 以上)	7,900 (1000 以下)
5	杉戸古川橋	7.4 (6.5 以上 8.5 以下)	3.4 (5 以下)	18 (50 以下)	6.9 (5 以上)	- (-)

注 1) 括弧内の数値は、該当する各類型の環境基準を示す。

注 2) 〇は、環境基準を満たしていないことを示す。

注 3) 栗橋及び道橋は図の表示範囲外である。

資料：「平成 21 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」(平成 23 年 4 月、埼玉県環境部水環境課)

b) 地下水の状況

幸手市には埼玉県が設置・管理している地下水観測井が2箇所あり、地下水位等を常時測定している。

観測井の諸元表は、表3.2.2-3に、地下水位の調査結果は表3.2.2-4に示すとおりである。

表3.2.2-3 幸手観測井の諸元表

地点番号	観測井名称	所在地	設置者	管理者	スレーナ-深度	井戸構造	口径	管頭高 H22.1.1	地盤高 H22.1.1	観測開始
					(m)		(mm)	TP(m)	TP(m)	
	幸手1号井	幸手市大字木立 1830-37	埼玉県	埼玉県	250-256	単管	200	11.65	10.83	H8.4
	幸手2号井				272-283			11.63		
					89-95					
					122-128					
					139-145					

資料：「平成22年 地盤沈下・地下水位観測年報」(埼玉県環境部 平成23年3月)

表3.2.2-4 幸手観測井の地下水位表

単位：m

観測井名称	観測年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	実測平均
幸手1号井	H22	26.15	26.09	25.50	25.15	25.21	25.63	25.99	26.64	27.16	27.19	27.00	26.81	26.21
	H21	26.00	25.53	25.29	25.22	25.31	25.50	25.75	26.19	27.00	26.70	26.57	26.22	25.94
幸手2号井	H22	13.06	12.97	12.71	12.52	12.79	13.43	13.84	14.54	14.23	14.22	13.75	13.52	13.47
	H21	12.96	12.73	12.62	12.50	12.89	13.34	13.42	13.90	14.66	13.86	13.49	13.11	13.29

資料：「平成22年 地盤沈下・地下水位観測年報」(平成23年3月、埼玉県環境部)

(2) 苦情の状況

幸手市における水質汚濁に関する苦情件数は3件で、苦情全体の約4%を占めている(表3.2.1-7及び図3.2.1-3参照)。

2) 底質

(1) 底質の状況

計画地及びその周辺を流れる中川(道橋)、利根川(栗橋)の底質測定結果は表3.2.2-5に示すとおりであり、底質の暫定除去基準を超える値はみられない。

表 3.2.2-5 底質測定結果

項目	道橋 (H21.11.04)	栗橋 (H21.09.09)	底質の暫定除去基準
カドミウム (mg/kg・乾泥)	0.6	< 0.5	-
鉛 (mg/kg)	8.8	3.33	-
六価クロム (mg/kg)	ND	< 0.5	-
砒素 (mg/kg)	7.3	3.88	-
総水銀 (mg/kg)	0.1	< 0.005	25 以上
アルキル水銀 (mg/kg)	ND	-	-
PCB (mg/kg)	ND	< 0.01	10 以上
クロム (mg/kg)	34.0	35.6	-
強熱減量 (%)	14.6	-	-
乾燥減量(水分) (%)	52.0	-	-
色相	灰褐色	-	-
性状	土	-	-

資料：「平成 21 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」(平成 23 年 4 月、埼玉県環境部水環境課)
「底質の暫定除去基準について」(環境省)

(2) 苦情の状況

幸手市における水質汚濁に関する苦情件数は 3 件で、苦情全体の約 4%を占めている(表 3.2.1-7 及び図 3.2.1-3 参照)。

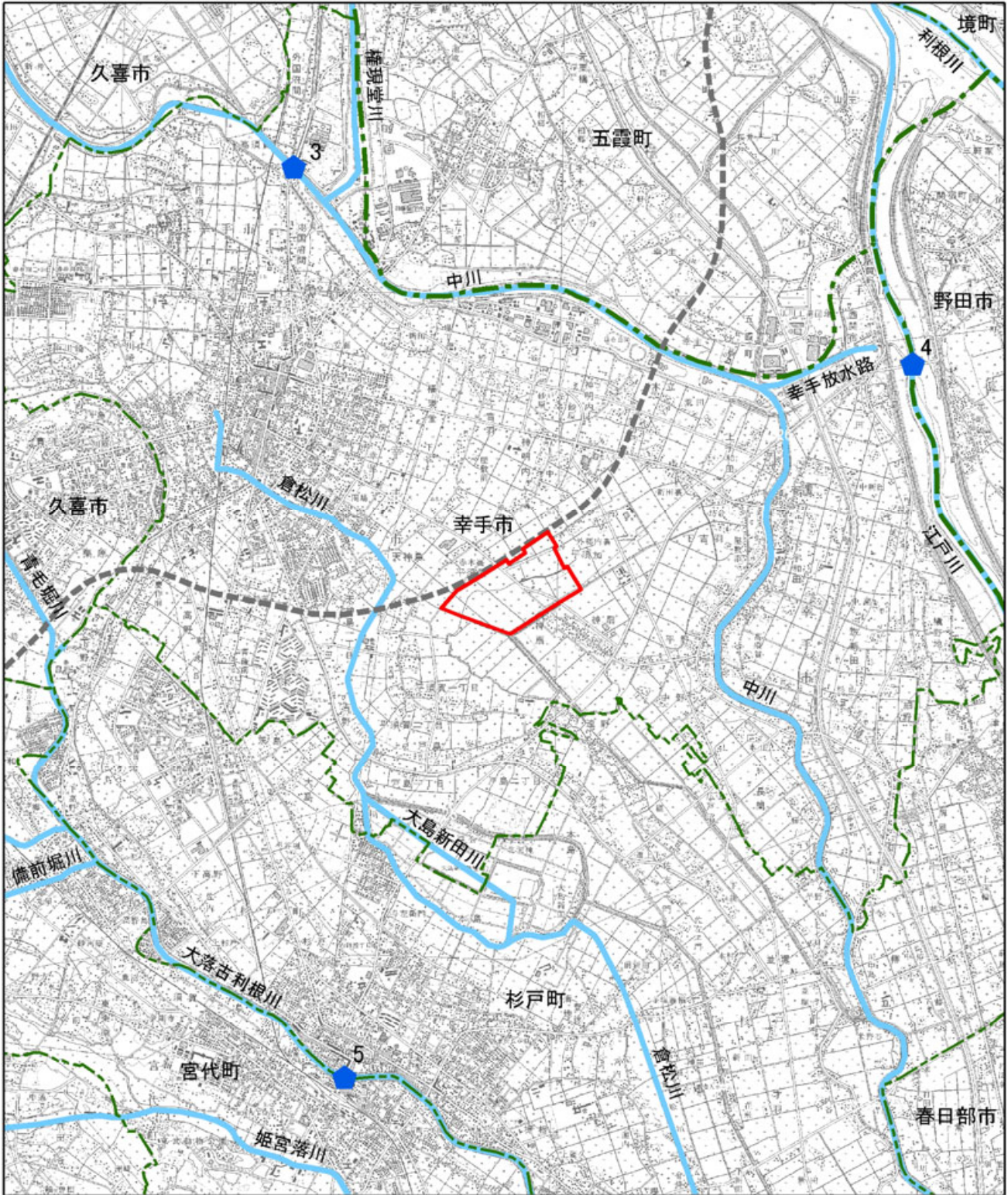



図 3.2.2-1 水質・底質測定地点

凡例


 計画地


 水質・底質測定地点

測定地点 1 栗橋及び測定地点 2 道橋は、図の表示範囲外である。

 県境界

 河川・水路

 各市町村の行政界

 圏央道(計画)

資料：「平成21年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」
(平成23年4月、埼玉県環境部水環境課)

1:50,000

0 500 1,000 m



本図は、国土地理院発行数値地図 25000(地図画像)久喜、宝珠花、栗橋、下総境を使用している。

3) 水象

(1) 水象の状況

計画地周辺は利根川水系に属し、主な河川として、利根川、江戸川、中川、大落古利根川、計画地近傍を流れる倉松川のほか、水路として浅堀、神扇落、地藏院落など（図 3.1.3-1 参照）が存在する。

(2) 苦情の状況

幸手市における水質汚濁に関する苦情件数は 3 件で、苦情全体の約 4%を占めている（表 3.2.1-7 及び図 3.2.1-3 参照）。

3.2.3. 土壌及び地盤の状況

1) 土壌

(1) 土壌の分布状況

計画地周辺の土壌の状況は、図 3.2.3-1 に示すとおりである。

計画地では、細流グライ土壌の山田統や、グライ土壌の片柳統、細粒灰色低地土壌の平塚統が分布している。また、計画地周辺では、それらに加え低位泥炭土壌の下八ッ林統や細粒灰色低地土壌の下樋遣川統、褐色低地土壌の新戒統などが分布している。

(2) 土壌の汚染状況

埼玉県では、土壌汚染対策法や埼玉県生活環境保全条例に基づき、有害物質使用特定施設の廃止時や土地の改変時など、一定の要件を満たした場合に、敷地の土壌汚染の状況を調査し結果を知事に報告することとしている。平成 14 年の条例施行から平成 20 年度までに 1,612 件の報告があり、うち 229 件の汚染が判明し、171 件については浄化が完了している。

農用地については、昭和 46 年度から農用地の土壌汚染状況を把握するため、県内における分析調査を 5 年に一度行っている。土壌汚染状況調査結果は、表 3.2.3-1 に示すとおりであり、各項目ともに農用地土壌汚染対策地域の指定要件基準を下回っている。

表 3.2.3-1 土壌汚染状況調査結果（水田土壌中および玄米中）

調査年度		調査地点の分析測定結果								
		土壌中（乾物）						玄米中（現物）		
		銅（基準値 125mg/kg）			砒素（基準値 15mg/kg）			カドミウム（基準値 1mg/kg）		
		最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
一巡目	S.54～S.57	32.3	0.1	11.3	11.8	tr	1.9	0.37	0.02	0.11
二巡目	S.59～S.62	23.6	0.1	9.0	5.3	tr	1.4	0.30	nd	0.09
三巡目	H.元～H.4	21.6	0.3	9.3	8.0	tr	1.8	0.38	tr	0.09
四巡目	H.6～H.9	28.7	0.2	9.4	13.1	tr	2.2	0.30	tr	0.06
五巡目	H.11～H.14	30.8	0.1	11.2	11.3	0.1	2.0	0.28	tr	0.09
六巡目	H.16～H.19	21.5	tr	8.9	6.4	0.1	1.7	0.31	tr	0.06
七巡目	H.21	21.7	0.3	12.2	7.9	0.3	2.4	0.12	tr	0.04

注) nd は検出限界以下、tr は極微量検出を示す。

平成 22 年 6 月改正され、現在基準値は 0.4mg/kg

資料：「平成 22 年版 埼玉県環境白書」（埼玉県環境部環境政策課）

(3) 苦情の状況

幸手市における土壌の汚染に関する苦情件数は 0 件である(表 3.2.1-7 及び図 3.2.1-3 参照)。

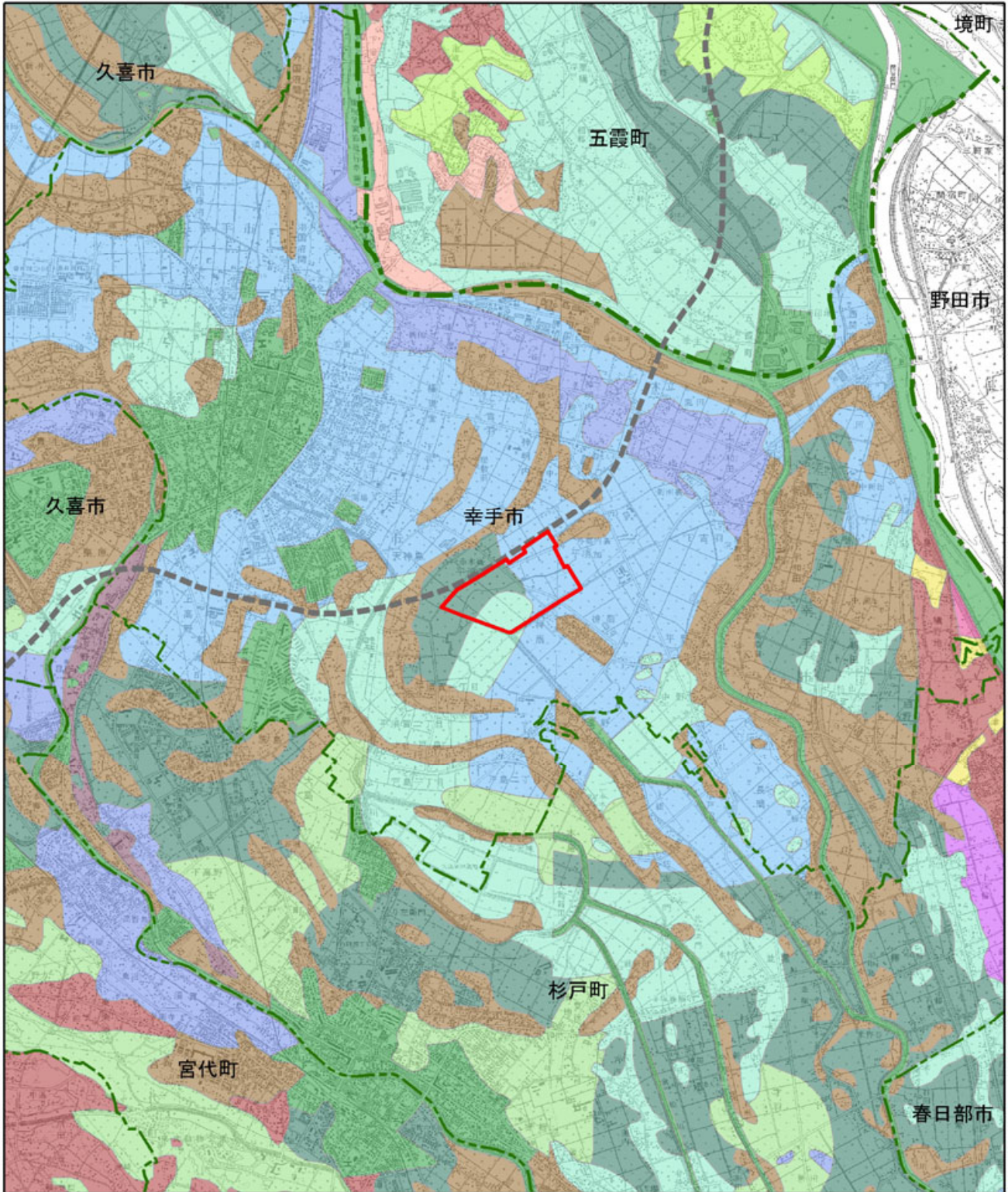


図 3.2.3-1 土壌図

凡例

- 計画地
- 県境界
- 各市町村の行政区
- 圏央道(計画)

- | | | |
|---|---|--|
| 乾性褐色森林土壌 | 褐色低地土壌 | 細粒グライ土壌 |
| 厚層黒ボク土壌 | 粗粒褐色低地土壌 | グライ土壌 |
| 黒ボク土壌 | 粗粒灰色低地土壌 | 低位泥炭土壌 |
| 多湿黒ボク土壌 | 灰色低地土壌 | 低地泥炭土壌 |
| 黒ボクグライ土壌 | 細粒灰色低地土壌 | 黒泥土壌 |
| 淡色黒ボク土壌 | 粗粒グライ土壌 | その他 |

資料：「土地分類基本調査（土壌図） 1/50000」
 「鴻巣」（昭和50年、埼玉県）
 「水海道」（昭和56年、埼玉県）
 「水海道」（昭和60年、茨城県）

1:50,000



本図は、国土地理院発行数値地図25000(地図画像)久喜、宝珠花、栗橋、下総境を使用している。

2) 地盤

(1) 地盤沈下の状況

埼玉県では、県平野部の地盤沈下状況を把握するため、毎年、水準基標を設置した 642 地点で調査を実施している。

幸手市は、「埼玉県生活環境保全条例」に基づく第一種指定地域であり、利用者は揚水機の吐出口の断面積合計が 6cm² を超える場合には、知事の許可を得る必要があり、6cm² 以下の場合には届出が義務づけられている。

関係市町における精密水準測量地点は図 3.2.3-2 に、測量成果は表 3.2.3-2 に示すとおりである。計画地周辺の過去 5 年間の変動量は全地点で沈下となっており、変動量は-8～-51mm である。

表 3.2.3-2 精密水準測量成果表

単位：mm

番号	市町名	所在地		各年別変動量					過去 5 年間の変動量	調査開始年からの変動量
		町(字)名	目標	H18	H19	H20	H21	H22		
47-44	幸手市	上吉羽 648	香取神社境内	0	-10	+7	+3	-14	-14	-970
47-45		平須賀 2254	個人宅地内	+1	-10	+11	-2	-14	-14	-836
47-46		戸島 123	香取神社境内	+1	-9	+9	+1	-13	-11	-805
2021		中 3 丁目 6315-1	幸手市勤労福祉会館脇	-1	-10	+7	+2	-15	-16	-34
48-48		大字千塚 1338	宝性院境内	-4	-10	+5	+1	-15	-23	-1077
2022		高須賀 207	高須賀集会所	-6	-15	+3	+2	-16	-33	-970
49-24		大字惣新田 3799	稲荷神社	+5	-13	+5	+5	-15	-14	-392
56-24		大字平野 509	資材置場	-5	-23	-2	-2	-20	-51	-573
56-25		大字下宇和田 134	(旧)吉田第一小学校	-3	-11	+2	+2	-17	-27	-399
56-26		大字木立 310-1	八幡神社境内	0	-11	+3	+4	-16	-20	-363
56-27		大字下川崎 391-2	西中学校	-1	-11	+5	+3	-	-5	-404
2020		大字上高野 1008	上高野小学校	-1	-9	+9	0	-15	-16	-386
07-01		大字木立字流作 1830-37	幸手地下水位観測所	-1	-12	+3	+3	-18	-26	-93
47-43		久喜市	青毛 1-8	春日部農林振興センター	-1	-10	+7	0	-15	-19
55-28	狐塚 217		氷川神社境内	-7	-14	+2	-1	-16	-35	-730
58-01	大字吉羽 772-1		古利根流域下水処理センター内	+2	-12	+11	+2	-16	-13	-232
46-25	杉戸町	大字高野 386	永福寺駐車場	+4	-11	+9	+1	-13	-10	-648
46-26		清地 2-9-29	杉戸町役場内	+3	-15	+7	0	-16	-21	-179
2018		杉戸 2-1588-2	個人宅前交差点西側	+3	-10	+8	+2	-14	-11	-179
2019		大島 39	稲荷神社境内	+2	-10	+9	+2	-13	-10	-81
47-49		並塚 787-1	(有)武井鶏園内	+8	-8	+1	+5	-14	-8	-729
47-50		大字才羽 601	源長寺境内	+6	-10	+2	+4	-13	-11	-47
49-23		屏風 115	八幡神社境内	+3	-12	+4	+5	-15	-16	-374
55-32		下高野 332-1	杉戸地下水位観測所脇	+2	-10	+8	+2	-14	-13	-329
56-23		佐左I門 1372-1	杉戸消防団第六分団前	+4	-8	+3	+4	-14	-11	-257
47-47		堤根 4545-1	上新田集会所	-1	-10	+8	-1	-15	-19	-17
47-48	堤根 3913	丸品寺境内	+3	-10	+10	0	-14	-11	-15	

注 1) 58-01 および 47-48 は図の表示範囲外である。

注 2) 56-27 は、平成 22 年の調査は行われていない。

注 3) 56-27 の過去 5 年、調査開始年からの変動量は、それぞれ平成 21 年までの変動量を示す。

注 4) 隔年別変動量は当年 1 月 1 日と翌年 1 月 1 日との差を示している。

資料：「平成 22 年度水準測量成果表」(平成 23 年 1 月 1 日、埼玉県環境部)

(2) 苦情の状況

幸手市における地盤沈下に関する苦情件数は 0 件である(表 3.2.1-7 及び図 3.2.1-3 参照)。

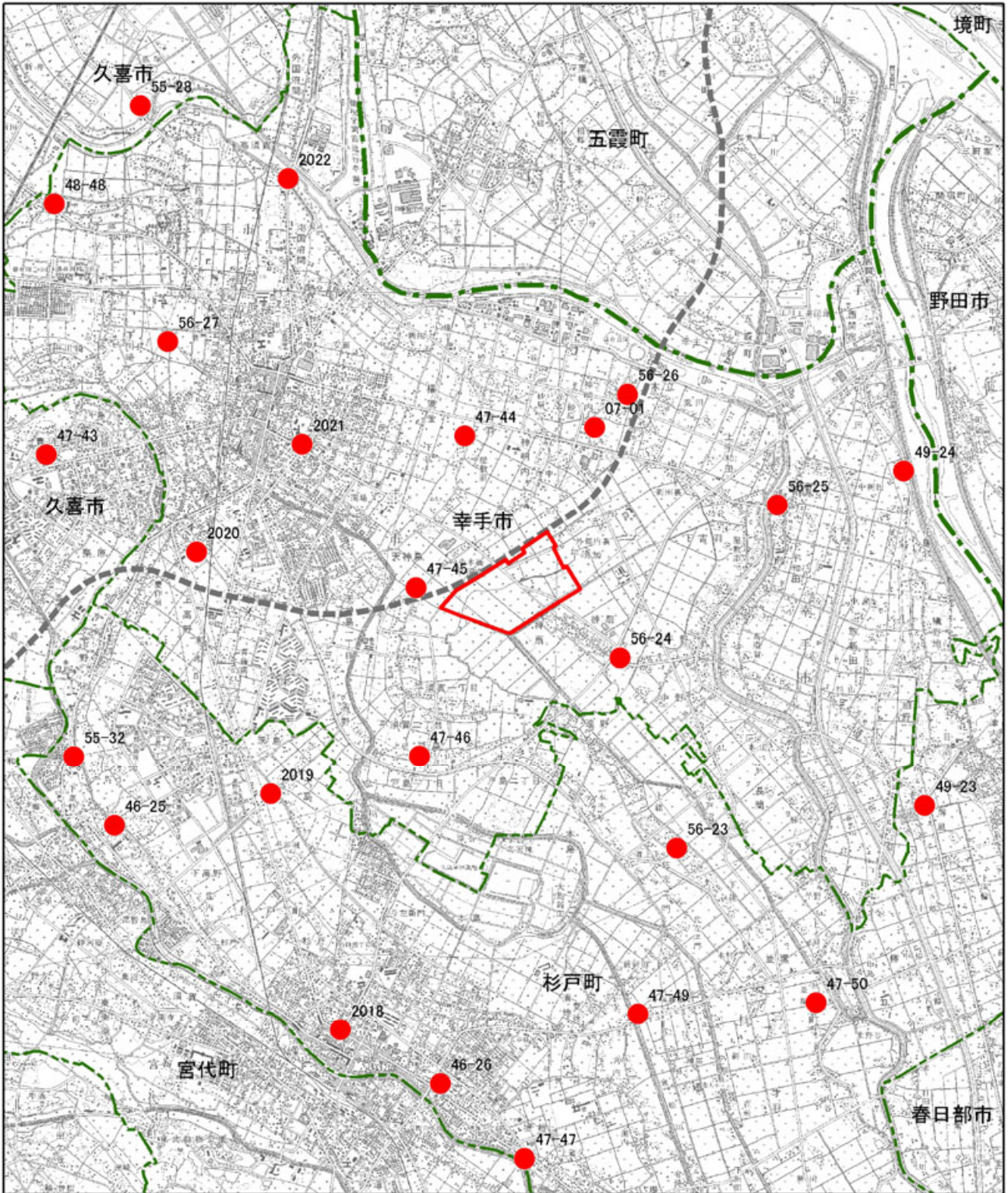


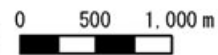
図 3.2.3-2 精密水準測量地点

凡例

- 計画地
- 県境界
- 各市町村の行政区
- 圏央道(計画)
- 精密水準測量地点

資料：「平成22年度水準測量成果表」
(平成23年1月1日、埼玉県環境部)

1:50,000



本図は、国土地理院発行数値地図25000(地図画像)久喜、宝珠花、栗橋、下総境を使用している。

3.2.4. 地形及び地質の状況

1) 地形の状況

計画地及びその周辺の地形図は、図 3.2.4-1 に示すとおりである。

「1/50,000 土地分類基本調査地形分類図 鴻巣」(昭和 50 年、埼玉県)及び「1/50,000 土地分類基本調査地形分類図 小海道」(昭和 56 年、埼玉県)「1/50,000 土地分類基本調査地形分類図 小海道」(昭和 60 年、茨城県)「幸手市史 自然環境編」(平成 12 年、幸手市教育委員会)によると、計画地の位置する幸手市は、東部台地群と中央低地帯の境界に位置しており、東側に下総台地の一部があるほかは、大部分が沖積低地となっている。また、計画地の周辺は、自然堤防等の微高地や、後背湿地や旧流路跡(旧河道)等の低湿地からなる平坦地となっている。

2) 表層地質の状況

計画地およびその周辺の表層地質の状況は、図 3.2.4-2 に示すとおりである。

計画地の周辺では、東側に火山性岩石のロームが帯状に分布するほか、未固結堆積物の砂質堆積物（自然堤防）や泥質堆積物（後背湿地）、泥質堆積物（自然堤防）が分布している。

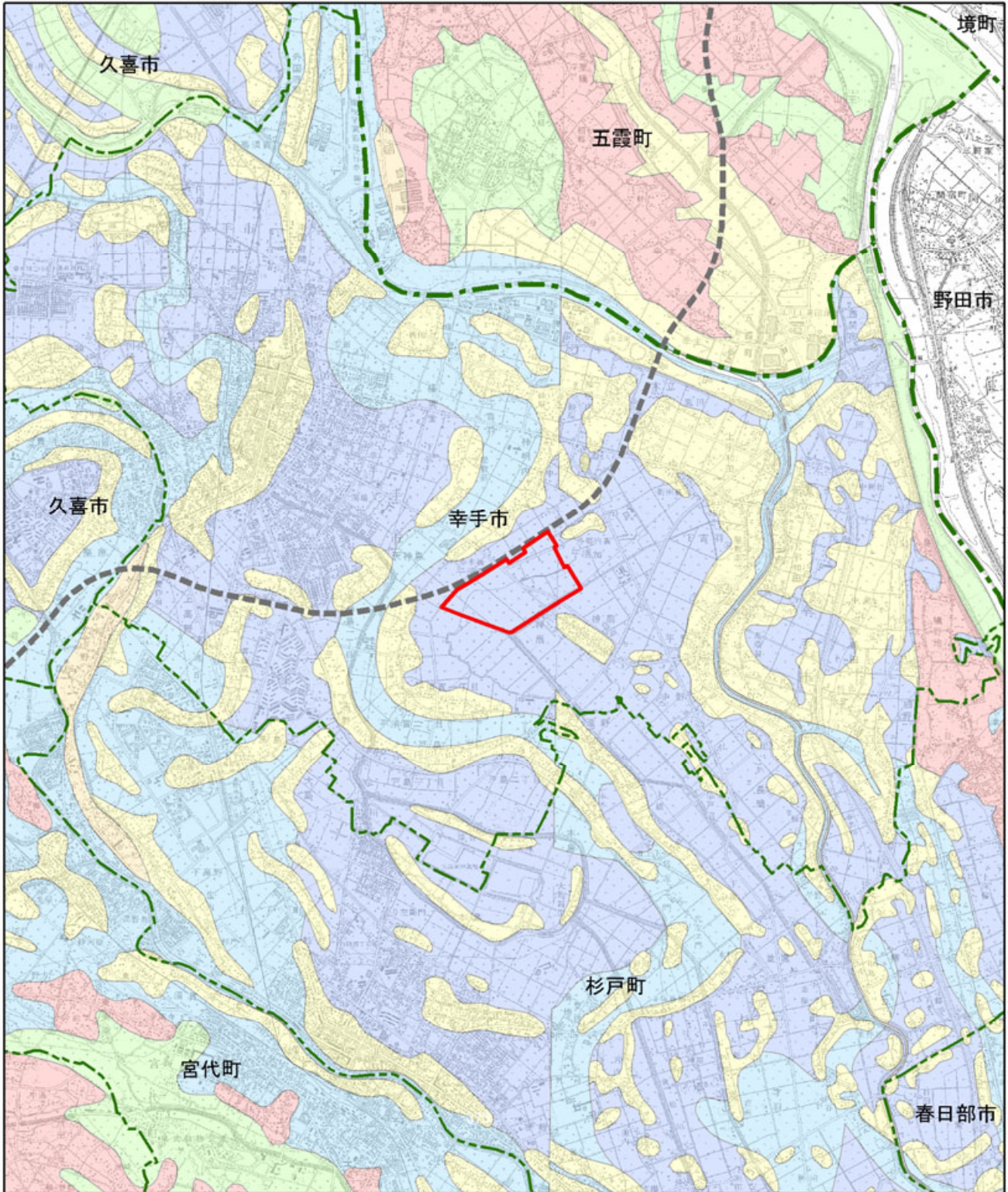


図 3.2.4-2 表層地質図

凡例

計画地

県境界

各市町村の行政区

圏央道(計画)

砂質堆積物(河原、氾濫原)

砂質堆積物(自然堤防)

砂丘堆積物(旧流路跡)

泥質堆積物(氾濫原の后背湿地)

砂泥体積物(旧流路跡)

洪積世(ローム)

未区分

資料：「土地分類基本調査(表層地質図) 1/50000」
 「鴻巣」(昭和50年、埼玉県)
 「水海道」(昭和56年、埼玉県)
 「水海道」(昭和60年、茨城県)

1:50,000

0 500 1,000 m



本図は、国土地理院発行数値地図25000(地図画像)久喜、宝珠花、栗橋、下総境を使用している。

3.2.5. 動物の生息、植物の生育、植生、緑の量及び生態系の状況

1) 動物

(1) 動物相

「埼玉県レッドデータブック 2008 動物編」(平成 20 年 3 月、埼玉県)によると、計画地付近は、低地帯(標高 50m 以下)の中川・加須低地に属している。中川・加須低地においてレッドリストにあげられている種は、哺乳類はホンドタヌキ、ホンドカヤネズミ等 9 種(カテゴリーが EX:絶滅種は除く:以下同じ)、鳥類(繁殖鳥)はチュウサギ、コアジサシ等 24 種、鳥類(越冬鳥)はタマシギ、シラコバト等 36 種、爬虫類はアオダイショウ等 11 種、両生類はトウキョウダルマガエル等 4 種、魚類はヤリタナゴ、メダカ等 25 種が、昆虫類はチョウ目 19 種、ハチ目 5 種、ハエ目 5 種、コウチュウ目 32 種、シリアゲムシ目 1 種、カメムシ目 11 種、バッタ目 18 種、ハサミムシ目 2 種、カマキリ目 1 種、カワゲラ目 3 種、トンボ目 18 種、カゲロウ目 3 種があげられている。

また、「幸手市史 自然環境編」(平成 12 年、幸手市教育委員会)、「久喜市の動・植物()」(平成元年、久喜市史編さん室)、「埼玉県動植物リスト」(埼玉県環境科学国際センターホームページ)、「オオタカ等保護指針」(平成 11 年、埼玉県)、「ガンカモ類の生息調査」(平成 19 年度、環境省)及び「第 2 回自然環境保全基礎調査 埼玉県動植物分布図」(昭和 53・54 年度、環境庁)によると、幸手市では、哺乳類はホンドタヌキ、ホンドイタチなど 5 目 6 科 11 種、鳥類はチュウサギ、コアジサシなど 13 目 30 科 80 種、爬虫類はシマヘビ、アオダイショウなど 2 目 3 科 6 種、両生類はアマガエルなど 1 目 2 科 4 種、昆虫類はヘイケボタル等 12 目 146 科 716 種、魚類は 6 目 12 科 35 種が確認されている。

周辺地域では、哺乳類、爬虫類、両生類に関する分布情報は不明で、鳥類は 15 目 33 科 96 種、昆虫類は 16 目 161 科 840 種、魚類は 3 目 3 科 14 種が確認されている。

(2) 注目すべき動物種

「幸手市史 自然環境編」(平成12年、幸手市教育委員会)、「久喜市の動・植物()」(平成元年、久喜市史編さん室)、「埼玉県動植物リスト」(埼玉県環境科学国際センターホームページ)、「オオタカ等保護指針」(平成11年、埼玉県)、「ガンカモ類の生息調査」(平成19年度、環境省)及び「第2回自然環境保全基礎調査 埼玉県動植物分布図」(昭和53・54年度、環境庁)に掲載されている幸手市、久喜市、杉戸町、五霞町の確認種のうち、「埼玉県レッドデータブック2008動物編」(平成20年3月、埼玉県)や環境省のレッドリストにおいて、絶滅のおそれのある野生動物として注目される種は138種であった。内訳は表3.2.5-1に示すとおり、哺乳類はホンダタヌキ、ホンDOIタチの2種、鳥類はチュウサギ、チョウゲンボウ、コアジサシ等の39種、両生類はトウキョウダルマガエルの1種、爬虫類はクサガメ、アオダイショウ、ヒバカリ、ヤマカガシの4種、昆虫類はキイトンボ、クルマバッタ、ヘイケボタル等の59種、魚類はゲンゴウロウブナ、ナマズ、メダカ等の12種、多足類はヨシダヒメヤスデ、コブヤスデの2種、甲殻類はスジエビ、テナガエビ、ヌカエビ、モクスガニの4種、軟体動物はマルタニシ、ナガオカモノアラガイ、ドブガイ等の15種となっている。

また、「第4回自然環境保全基礎調査 埼玉県自然環境情報図」(平成7年、環境庁)によると、図3.2.5-1に示すとおり、計画地の周辺部において、イワツバメの集団繁殖地、サギ類の集団繁殖地が確認されている。

表3.2.5-1 注目すべき動物種の一覧(1/3)

分類群	目名	科名	生息確認種		生息確認情報					注目すべき動物の選定基準					
			種名		幸手市	久喜市	杉戸町	五霞町	種の保存法1	環境省RL2	天然記念物3	埼玉県RDB4		茨城県RDB5	
			和名	学名								中川・加須低地	全県		
哺乳類	科	イヌイタチ	ホンドタヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i>								VU	RT		
		イタチ	ホンドイタチ	<i>Mustela itatsi itatsi</i>								NT2	RT		
合計	1目	2科			2種	2種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	2種	2種	0種
鳥類	カイツブリ	カイツブリ	ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>									NT1	NT1	
			ミミカイツブリ	<i>Podiceps auritus</i>									VU	VU	
			カムフラカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>									VU	VU	希少種
	コウノトリ	サギ	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>						NT			VU	VU	希少種
			チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>						NT			NT2	VU	
			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>										DD	
	カモ	カモ	オオハクチョウ	<i>Cygnus cygnus</i>									CR	CR	
			コウノトリ	<i>Cygnus columbianus</i>									NT1	NT1	
			トモガモ	<i>Anas formosa</i>							VU		VU	VU	希少種
	カ	カ	ハチタテ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>						NT				VU	希少種
			トビ	<i>Milvus migrans</i>										DD	
			オオカ	<i>Accipiter gentilis</i>						NT			EN	VU	危急種
			ノスリ	<i>Buteo buteo</i>										NT2	
			サシバ	<i>Butastur indicus</i>							VU		EX	EN	
	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>									NT2	NT2	
	ツル	ツル	クサビ	<i>Rallus aquaticus</i>									VU	VU	
			ハシ	<i>Gallinula chloropus</i>									NT2	NT2	
	チドリ	チドリ	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>									VU	NT1	希少種
			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>									LP	LP	希少種
			タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>									NT2	NT2	
		サギ	ウスラサギ	<i>Calidris acuminata</i>											希少種
			イソサギ	<i>Tringa hypoleucos</i>									NT2	NT2	
			ヤマサギ	<i>Scolopax rusticola</i>									NT2	NT2	
			オオジサギ	<i>Gallinago hardwickii</i>						NT				CR	希少種
	カモメ	カモメ	コノサギ	<i>Sterna albifrons</i>							VU		EN	EN	希少種
	ハト	ハト	シロハト	<i>Streptopelia decaocto</i>							VU		NT2	VU	希少種
	カッコウ	カッコウ	カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>											希少種
	フクロウ	フクロウ	アホバシ	<i>Ninox scutulata</i>									EN	RT	希少種
	アホバシ	アホバシ	アホバシ	<i>Alcedo atthis</i>									NT2	LP	
	スズメ	スズメ	トラツグミ	<i>Turdus dauma</i>										RT	
			クワツグミ	<i>Turdus cardis</i>										RT	
		ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>									VU	RT	
			センダングサ	<i>Phylloscopus occipitalis</i>										RT	
		ヒタキ	オホバシ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>										RT	希少種
		エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>									EX	RT	
	ホオジロ	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>									VU	RT	
			ホオノカ	<i>Emberiza fucata</i>									EX	CR	希少種
			アホバシ	<i>Emberiza spodocephala</i>										NT1	
	ムクドリ	ムクドリ	ムクドリ	<i>Sturnus philippensis</i>										DD	
合計	11目	19科			39種	20種	34種	1種	0種	2種	9種	0種	26種	37種	15種

表 3.2.5-1 注目すべき動物種の一覧 (2/3)

分類群	目名	科名	生息確認種		生息確認情報					注目すべき動物の選定基準										
			和名	学名	幸手市	久喜市	杉戸町	五霞町	種の保存法 1	環境省RL 2	天然記念物 3	埼玉県RDB 4		茨城県RDB 5						
												中川加須低地	全県							
両生類	カエル	アマガエル	トウキョウガエル	<i>Rana porosa</i>							NT		NT2	NT2						
合計	1目	1科			1種	1種	0種	0種	0種	0種	1種	0種	1種	1種	0種					
爬虫類	カメ トカゲ	イガメ	ウツガメ	<i>Geoclemys reevesii</i>									NT2	NT2						
			アオガシラ	<i>Elaphe climacophora</i>										NT2	NT2					
			ヒバカリ	<i>Natrix vibakari</i>											VU	VU				
			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>											NT2	NT2				
合計	2目	2科			4種	4種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	4種	4種	0種					
昆虫類	トンボ	イトトンボ	オホシイトトンボ	<i>Cercion plagiosum</i>							CR+EN		CR+EN	CR+EN	希少種					
			キイトトンボ	<i>Ceragrion melanurum</i>										CR+EN	NT2					
			ヘニイトトンボ	<i>Ceragrion nipponicum</i>									VU		CR	CR+EN	希少種			
			モトイトトンボ	<i>Mortonagrion selenion</i>									NT		CR+EN	VU				
			モナシトンボ	オモモシトンボ	<i>Copera tokyoensis</i>								CR+EN		NT1	CR+EN				
			アオイトトンボ	コバネアオイトトンボ	<i>Lestes japonicus</i>								CR+EN		EX	EX				
			カワトンボ	アホガトンボ	<i>Calopteryx japonica</i>										EX	NT2				
			サエトトンボ	キロサエ	<i>Asiagomphus pryeri</i>											EX	NT1	希少種		
				赤サエ	<i>Gomphus postocularis</i>											EX	VU			
				ナゴサエ	<i>Stylurus nagoyanus</i>									NT		EN	NT1			
				メナサエ	<i>Stylurus oculatus</i>									NT		CR+EN	CR+EN	危急種		
			ヤス	アオヤス	<i>Aeschnophlebia longistigma</i>											CR+EN	VU	希少種		
				オホヤス	<i>Oligoaeschna pryeri</i>											VU	NT2			
			イブトンボ	トライトンボ	<i>Epithea marginata</i>											EX	CR+EN			
				キロイトンボ	<i>Macromia daimoji</i>										NT	EX	CR	危急種		
			トンボ	ヘッコトンボ	<i>Libellula angelina</i>										CR+EN			絶滅種		
				オキトンボ	<i>Sympetrum uniforme</i>										CR+EN	CR+EN	CR+EN	絶滅危惧種		
			ハナバチ	コバチ	クマコバチ	<i>Modioceryx minor</i>										NT2	LP			
					イブス	<i>Pteronemobius vezoensis</i>										NT1	LP			
					キリキリス	<i>Mecopoda nipponensis</i>											EN	EN	危急種	
					ハナバチ	クマハナバチ	<i>Gastrancistrus marmoratus</i>										NT2	NT2		
			ナナフシ	ナナフシ	イダナナフシ	<i>Phraortes illepidus</i>												DD		
				ハナミミシ	クマハナミミシ	<i>Forficula scudderii</i>											NT2	NT2		
			カメムシ	ウカ	クロシウカ	<i>Euides speciosa</i>											NT1	NT1		
					ハナガウカ	キナハナガウカ	<i>Rhotana satsumana</i>												NT1	
					ヨコバチ	カメムシヨコバチ	<i>Mimotettix kawamurae</i>										DD			
					アメンボ	エサアメンボ	<i>Gerris esakii</i>										NT	NT1	NT1	絶滅危惧種
					ヨシムシ	ヨシムシ	<i>Diplonychus japonicus</i>										NT	CR	CR	希少種
					サシガメ	トゲサシガメ	<i>Polididus armatissimus</i>											NT1	NT1	
					ハリカメムシ	ヒメトゲハリカメムシ	<i>Coriomeris scabricornis</i>											NT1	NT1	
					コバチ	オバチ	オバチ	<i>Eochlaenius suvorovi</i>									CR+EN	NT2	NT1	
						ミズバチ	オオミズバチ	<i>Dineutus orientalis</i>										NT1	VU	
						セシバ	セシバ	<i>Helophorus auriculatus</i>									VU		EN	EN
			シシバ	ヒメシシバ		<i>Nicrophorus tenuipes</i>												LP		
			ヒメト	クマヒメト		<i>Pseudamophilus japonicus</i>									NT		NT1	NT1		
			クマムシ	クマムシ		<i>Chrysochroa fulgidissima</i>													危急種	
			赤カ	赤カ		<i>Luciola lateralis</i>											EN	NT1		
			カミキリ	ヨツバカミキリ		<i>Stenagrion quadrinotatum</i>										VU				
			ハチ	アハチ		ニホハチ	<i>Tachytes nipponicus</i>											NT2	NT2	
						キナハチ	<i>Leptalina unicolor</i>										NT	NT2	NT2	
			チョウ	セリチョウ	オオセリ	<i>Polytremis pellucida</i>											NT2	NT2		
					オオセリ	<i>Polytremis pellucida</i>											NT2	NT2		
					ウツセリ	<i>Eurema laeta</i>										VU	EX	EX		
					シシチョウ	ミドリシシ	<i>Neozephyrus japonicus</i>											NT1	NT1	
					クマセリ	<i>Apatura metis</i>												VU	NT1	
アハチ	アハチ	<i>Ladoga glorifica</i>													CR	NT2				
	アハチ	<i>Nymphalis xanthomelas</i>													VU	VU				
	アハチ	<i>Sasakia charonda</i>											NT	CR	VU	希少種				
	アハチ	<i>Minois dryas</i>													VU	NT2				
	アハチ	<i>Brahmaea wallichii</i>													CR	RT				
ヤママユ	ヤママユ	<i>Actias gnoma</i>													LP	LP				
	ヤママユ	<i>Antheraea yamamai</i>													VU	RT				
	ヤママユ	<i>Catocala separans</i>													DD	NT2				
	ヤママユ	<i>Melipotis electaria</i>															希少種			
	ヤママユ	<i>Parallelia arctotaenia</i>															希少種			
ヤママユ	ヤママユ	<i>Zancloqna obliqua</i>												CR+EN	CR+EN	希少種				
	ヤママユ	<i>Zancloqna obliqua</i>												CR+EN	CR+EN	希少種				
合計	8目	37科			59種	42種	37種	10種	0種	1種	20種	0種	49種	53種	17種					
魚類	ウナギ	コイ	ウナギ	<i>Anquilla japonica</i>									DD							
			コイ	<i>Tribolodon brandti</i>											NT2	NT2				
			コイ	<i>Opsariichthys uncirostris</i>											VU					
			コイ	<i>Abbottina rivularis</i>											VU					
			コイ	<i>Squalidus biwae</i>											NT					
			コイ	<i>Ischikauia steenackeri</i>											EN					
			コイ	<i>Carassius auratus ssp.</i>													NT2	NT2		
			コイ	<i>Carassius auratus cuvieri</i>												EN				
			コイ	<i>Silurus asotus</i>													NT2	NT2		
			コイ	<i>Liobagrus reini</i>												VU	DD	DD		
			コイ	<i>Orzias latipes</i>												VU	VU	希少種		
合計	5目	6科			12種	12種	6種	0種	0種	0種	10種	0種	6種	6種	1種					

表 3.2.5-1 注目すべき動物種の一覧 (3/3)

分類群	生息確認種			生息確認情報					注目すべき動物の選定基準						
	目名	科名	種名		幸手市	久喜市	杉戸町	五霞町	種の保存法 1	環境省RL 2	天然記念物 3	埼玉県RDB 4		茨城県RDB 5	
			和名	学名								中川・加須低地	全県		
多足類	ヒヤス	カアヤス	ヨダヒヤス	<i>Yosidaiulus tuberculatus</i>								CR	CR		
	ホヤス	ホカヤス	コホヤス	<i>Pseudocatapyrgodesmus glaucus</i>								EN	EN		
合計	2目	2科		2種	2種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	2種	2種	0種	
甲殻類	ヒ	テナヒ	スヒ	<i>Palaemon paucidens</i>										RT	
		テナヒ	マヒ	<i>Macrobrachium nipponense</i>										RT	
		マヒ	マヒ	<i>Paratya compressa improvisa</i>										VU	希少種
		イガニ	モスガニ	<i>Eriocheir japonicus</i>									NT2	NT2	
合計	1目	3科		4種	4種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	4種	4種	1種	
軟体動物	ナ	タニ	マルタニ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>						NT		NT2	NT2		
		カニ	ヒナヒナカニ	<i>Semisulcospira libertina trachea</i>											希少種
	モアガイ	モアガイ	モアガイ	<i>Radix auricularia japonica</i>						NT		DD	NT2		
		ヒマキガイ	カネジガイ	<i>Camptoceras terebra hirasei</i>						CR+EN		EX	EX		
			トキョウヒマキガイ	<i>Gyraulus tokyoensis</i>									LP	LP	
			ヒマキガイ	イトキ	<i>Polypylis hemisphaerula</i>						NT		LP	LP	
	マライ	カヨウガイ	カヨウガイ	<i>Laevapex nipponica</i>								DD	NT2		
		カヨウガイ	カヨウガイ	<i>Oxyloma hirasei</i>						NT		VU	VU		
		カヨウガイ	カヨウガイ	<i>Vertigo eogea eogea</i>							VU				
		カヨウガイ	カヨウガイ	<i>Parastitafa reinhardti</i>								VU	VU		
	イガイ	イガイ	カヨウガイ	<i>Agista proba goniosoma</i>						NT					
		イガイ	イガイ	<i>Anodonta woodiana</i>								DD	NT2		
		イガイ	イガイ	<i>Unio douglasiae</i>									NT2		
		イガイ	イガイ	<i>Corbicula leana</i>						NT					
合計	4目	12科		15種	4種	13種	0種	0種	0種	8種	0種	10種	11種	1種	

- 種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月)における国内希少野生動植物種
- 環境省レッドリスト：「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物I及び植物IIのレッドリストの見直しについて」(平成19年8月、環境省)
「鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて」(平成18年12月、環境省)
EX：絶滅 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
EW：野生絶滅 飼育・栽培下でのみ存続している種
CR+EN：絶滅危惧I類 絶滅の危機に瀕している種
CR：絶滅危惧IA類 ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
EN：絶滅危惧IB類 IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
VU：絶滅危惧II類 絶滅の危険が増大している種
NT：準絶滅危惧 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
DD：情報不足 評価するだけの情報が不足している種
LP：絶滅のおそれのある地域個体群 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
- 天然記念物：「文化財保護法」(昭和25年5月)における天然記念物及び、埼玉県、茨城県、幸手市、久喜市、杉戸町、五霞町指定の天然記念物
- 埼玉県レッドデータブック2008
EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧IA類 EN：絶滅危惧IB類 VU：絶滅危惧II類 NT1、NT2：準絶滅危惧
DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群 RT：地帯別危惧 全県評価のみ
：生息は確認されているが、カテゴリーに該当しない。
- 茨城県レッドデータブック2000
絶滅種：本県ではすでに絶滅したと考えられる種
絶滅危惧種：本県で絶滅の危機に瀕している種
危急種：本県で絶滅の危険が増大している種
希少種：本県で存続基盤が脆弱な種

2) 植物

(1) 現存植生の状況

計画地及びその周辺は中川低地とよばれ、気候による森林帯区分から見ると暖温帯に属する。中川低地は、古くは利根川の氾濫原であり、かつては広大な低湿地が広がっていた。しかしながら、現在では農耕地として広く利用されているほか、市街地化が進行している。計画地周辺の植生としては、図 3.2.5-2 の現存植生図に示すとおり、水田雑草群落が多くみられ、次いで畑雑草群落や放棄水田雑草群落などが多く分布している。

また、「改訂・埼玉県レッドデータブック 2005 植物編」（平成 17 年、埼玉県）によると、幸手市とその周辺の市町において、表 3.2.5-2 に示す植物群落が希少な植物群落として選定されている。

表 3.2.5-2 希少な植物群落の一覧

市町名	群落の位置	群落名	植生の種類	埼玉県がコリ
幸手市	花島・槇野地	江戸川河川敷 湿性植物群落	湿地植物群落	2：消滅の危険
幸手市	松石・高須賀	高須賀池 水生植物群落	池沼植物群落	1：減少
杉戸町	木野川	木野川古墳群 周辺の植物群落	湿地植物群落	4：危機的消滅寸前
久喜市	青毛	青毛のタヌキモ 自生地	池沼植物群落	5：消滅

資料：「改訂・埼玉県レッドデータブック 2005 植物編」（平成 17 年 3 月、埼玉県環境部自然環境課）

(2) 植物相の状況

「改訂・埼玉県レッドデータブック 2005 植物編」（平成 17 年、埼玉県）によると、埼玉県内に生育する維管束植物は 2,300 種となっている。また、「幸手市史 自然環境編」（平成 12 年、幸手市教育委員会）によると、幸手市域で生育が確認された維管束植物は、過去に記録があった種類を含めると 748 種であり、現在生育しているのは 594 種とされている。特に、在来植物の消失が著しかったのは、草原や湿地に生育する種で、開発に伴う生育地の消失が主たる要因とされている。

(3) 注目すべき植物種

幸手市において現在生育が確認されている 594 種のうち、注目すべき種として選定されている種は、表 3.2.5-3 に示す 38 種である。なお、埼玉県が特に保護の必要な種として指定している「県内希少野生動植物種」に該当する種は確認されなかった。

表 3.2.5-3 注目すべき植物種

科名	種名	確認状況	指定状況	
			環境省 1 レッドリスト	埼玉県 2 レッドリスト
トクサ	イヌスギナ		-	NT
ハウライシダ	ミズワラビ		-	NT
タデ	ナガバナウナギツカミ		NT	EX
	シロバナサクラタデ		NT	-
	ホソバイヌタデ		NT	EN
キンボウゲ	コキツネノボタン		VU	EN
マツモ	マツモ		-	VU
ドクダミ	ハンゲショウ		-	VU
アブラナ	コイヌガラシ		NT	NT
ユキノシタ	タコノアシ		NT	VU
マメ	レンリソウ		-	EN
ウリ	ゴキヅル		-	VU
ミソハギ	ヒメミソハギ		-	NT
アリノトウグサ	フサモ		-	NT
ミツガシワ	ヒメシロアサザ		VU	EN
シソ	ミゾコウジュ		NT	NT
ゴマノハグサ	キクモ		-	NT
キク	カワヂシャ		NT	VU
	タウコギ		-	NT
	フジバカマ		NT	NT
	アキノハハコグサ		VU	CR
	オグルマ		-	NT
	ホソバオグルマ		VU	EN
	ノニガナ		-	NT
	オナモミ		VU	VU
オモダカ	アギナシ		NT	CR
	ウリカワ		-	NT
トチカガミ	トチカガミ		NT	VU
	ミズオオバコ		VU	VU
	コウガイモ		-	VU
ヒルムシロ	エビモ		-	NT
	イトモ		NT	VU
ユリ	ホトトギス		-	VU
サトイモ	ウラシマソウ		-	NT
カヤツリグサ	ウマスゲ		-	NT
	カンエンガヤツリ		VU	VU
	アゼテンツキ		-	EN
	コマツカサススキ		-	EN

確認状況：“ ” 標本によって確認された現生種。“ ” 補足データ。

資料：「幸手市史 自然環境編」(平成 12 年、幸手市教育委員会)

「絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト 植物 I (維管束植物)」(平成 19 年、環境省)

「埼玉県レッドリスト 2011 植物編」(平成 23 年、埼玉県)

1 環境省レッドリスト

EX：絶滅 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種

EW：野生絶滅 飼育・栽培下でのみ存続している種

CR + EN：絶滅危惧 I 類 絶滅の危機に瀕している種

CR：絶滅危惧 IA 類 ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

EN：絶滅危惧 IB 類 IA 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

VU：絶滅危惧 II 類 絶滅の危険が増大している種

NT：準絶滅危惧 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

DD：情報不足 評価するだけの情報が不足している種

LP：絶滅のおそれのある地域個体群 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

2 埼玉県レッドデータブック

EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 IA 類 EN：絶滅危惧 IB 類 VU：絶滅危惧 類 NT1、NT2：準絶滅危惧

DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群

3) 生態系

計画地の大部分は土地改良された乾田で、冬季は乾燥した土が露出しており、春～秋には稲作が行われる農耕地として定期的な管理が行われている。計画地周辺部には、水田の他、一部に造成グラウンドや住宅地が見られるが、まとまった森林はみられない。

また、計画地及び周辺には西または南方向に流れる河川や排水路が整備されている。

これらの環境を反映し水田や造成地を主な生息場所とするゴイサギやスズメ、ムクドリ等の鳥類や平野部に一般的に見られるホンドタヌキ、ホンドイタチの哺乳類が生息し、また、水辺に多いカエル類やドジョウとこれを餌とするヘビ類やサギ類、さらにトンボ類をはじめとする多くの昆虫類などにより生態系が構成されていると考えられる。また、計画地周辺の河川や用水路、池沼には魚類やアメリカザリガニ等の水生動物の生息が見られ、水生植物、付着藻類を生産者とする水域生態系が成立しているものと考えられる。

3.2.6. 景観、自然とのふれあいの場の状況

1) 景観

(1) 地域景観の状況

計画地のある幸手市は、東部台地群と中央低地帯の境界に位置しており、大部分が中川低地に含まれている。

計画地及びその周辺は、市街化調整区域に位置し、大部分は農用地区域に指定されている。計画地を含む一帯は、広く水田等の農地として利用されており、北西～西側の幸手駅を中心とした周辺部には商業地域等の商業系地域や第一種低層住居専用地域等の住居系地域も分布している。

計画地周辺の景観構成要素としては、農地や河川といった自然的要素と住宅地等の人工的要素が混在してみられる。

(2) 主要眺望点の分布状況

計画地を広範囲に眺望でき、不特定多数の人に利用される地点としては、計画地南側の神扇グラウンドや、北側を通る県道惣新田幸手線などがあげられる。

2) 計画地周辺の人と自然のふれあいの場

計画地周辺の「人と自然とのふれあいの場」としては、図 3.2.6-1 に示すとおり、計画地南側の神扇グラウンド、国体記念運動広場、大島新田グラウンド等がある。計画地北側には、幸手工業団地を核とする幸手総合公園、上吉羽中央公園等がある。

3.2.7. 文化財等の状況

1) 指定文化財

計画地には指定文化財は存在しないが、計画地の周辺には、表 3.2.7-1 及び図 3.2.7-1 に示すように、国指定文化財（岸本家住宅主屋）や県指定文化財（幸手善賑窮餓之碑等）、市・町指定文化財（将門の首塚等）が存在する。

表 3.2.7-1 計画地周辺の指定文化財(1/2)

番号	指定	種別	名称	市町名	所在地
1	県	史跡	幸手義賑窮餓之碑	幸手市	北 1 - 10 - 3
2	市	有形民俗文化財	マリア地蔵	幸手市	大字権現堂 299
3	市	有形文化財	円空仏	幸手市	大字千塚 727
4	市	無形民俗文化財	下川崎石投げ踊り	幸手市	大字下川崎香取神社
5	市	有形文化財	巻島家文書	幸手市	北 3 - 9 - 27
6	市	有形文化財	岸本家文書	幸手市	中 2 - 1 - 9
7	市	有形文化財	吉羽家文書	幸手市	大字外国府間 369
8	市	有形文化財	橘守部の書	幸手市	東 4 - 6 - 8
9	市	史跡	橘守部翁遺蹟碑	幸手市	北 1 - 17-59
10	市	有形文化財	金子家文書	幸手市	大字上吉羽 336-1
11	市	有形民俗文化財	権現堂堤修復絵馬	幸手市	北 3 - 10 - 19
12	市	史跡	御成街道道しるべ	幸手市	大字上高野 2775 地先
13	市	有形文化財	幸宮神社本殿の彫刻	幸手市	中 4 - 11 - 30
14	市	名勝	行幸堤・権現堂堤	幸手市	大字内国府間桜堤上
15	市	無形民俗文化財	高須賀大杉ばやし	幸手市	大字高須賀大杉神社
16	市	有形文化財	紙本墨書大般若波羅蜜多經付けんどん箱（子～亥）12箱	幸手市	南 3 - 5 - 6
17	市	史跡	順礼の碑	幸手市	大字内国府間権現堂堤
18	市	史跡	将門の首塚	幸手市	大字神明内 1470
19	市	無形民俗文化財	松石ささら獅子舞	幸手市	大字松石香取神社
20	市	有形文化財	聖福寺勅使門	幸手市	北 1 - 9 - 27
21	市	無形民俗文化財	千塚ささら獅子舞	幸手市	大字千塚千塚神社
22	市	有形文化財	中村家文書	幸手市	東 4 - 6 - 8
23	市	有形文化財	天神島天神神社所蔵資料（社殿内保管分一括）	幸手市	大字天神島 279
24	市	史跡	日光街道道しるべ	幸手市	大字外国府間 626 地先
25	市	史跡	柳剛流祖岡田先生之碑	幸手市	大字西関宿 1-1
26	国	登録有形文化財（建造物）	岸本家住宅主屋	幸手市	中 2-6249-1 他
27	市	天然記念物	川瀬家のイヌマキ	久喜市	青毛 4-9-18

表 3.2.7-1 計画地周辺の指定文化財(2/2)

番号	指定	種別	名称	市町名	所在地
28	県	史跡	日光御成街道一里塚	杉戸町	大字下高野 329
29	町	史跡	西行法師見返りの松碑	杉戸町	大字下高野 389 (永福寺前)
30	県	史跡	大島有隣遺跡	杉戸町	大字大島 40 (恭俣舎) 大字大島 174 (有隣塚)
31	国	工芸品 (重要文化財)	太刀銘「備州長船秀光応安二二年十月」	杉戸町	内田 2 - 1 - 17
32	県	考古資料	目沼 9 号墳出土品一括	杉戸町	清地 2-9-29
33	町	史跡	目沼浅間塚古墳	杉戸町	大字目沼 398
34	町	天然記念物	天満宮の榎	杉戸町	大字下高野 424
35	町	史跡	大島有隣・関口保宣・藤城吉右衛門各氏の墓	杉戸町	大字下高野 396 (永福寺墓地内)
36	町	史跡	杉山対軒遭難の碑	杉戸町	大字椿 1814
37	町	歴史資料	杉戸宿本陣宿札(関札)	杉戸町	杉戸 2-15-24
38	町	古文書	長瀬家文書	杉戸町	杉戸 2-15-24
39	町	史跡	旧利根川堤防跡	杉戸町	大字下高野 331-1 他
40	町	無形民俗	茨島の神楽・囃子	杉戸町	大字茨島地内
41	町	絵画	酒造図絵馬・桶づくり図絵馬	杉戸町	大字茨島 929
42	町	絵画	神馬奉献図絵馬	杉戸町	杉戸 4-251
43	町		幸主名馬尊	五霞町	幸主地内
44	町		江川天満宮	五霞町	江川
45	町		冬木 A 貝塚	五霞町	原宿台地内
46	県	工芸品	梵鐘	五霞町	山王山 827-1 東昌寺
47	町		山門	五霞町	山王山 827-1 東昌寺
48	町		東昌寺由来記 1 巻	五霞町	山王山 827-1 東昌寺
49	町		東照宮神君檜御扇子	五霞町	山王山 827-1 東昌寺
50	町		豊臣秀吉公の禁札 1 巻	五霞町	山王山 827-1 東昌寺

注) 番号は図 3.2.7-1 と対応する。

資料: 「埼玉県所在国指定・県指定等文化財件数一覧(平成 23 年 3 月時点)」

(埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課)

「指定文化財一覧(平成 21 年 4 月 1 日現在)」(幸手市)

「杉戸町の教育(平成 22 年度)」(杉戸町教育委員会)

「久喜市の歴史と文化財 - 久喜市 HP(平成 21 年 4 月現在)」

「いばらきの文化財一覧(平成 23 年 3 月 31 日現在)」(茨城県教育庁文化課)

「文化財 - 五霞町 HP(平成 21 年 4 月現在)」

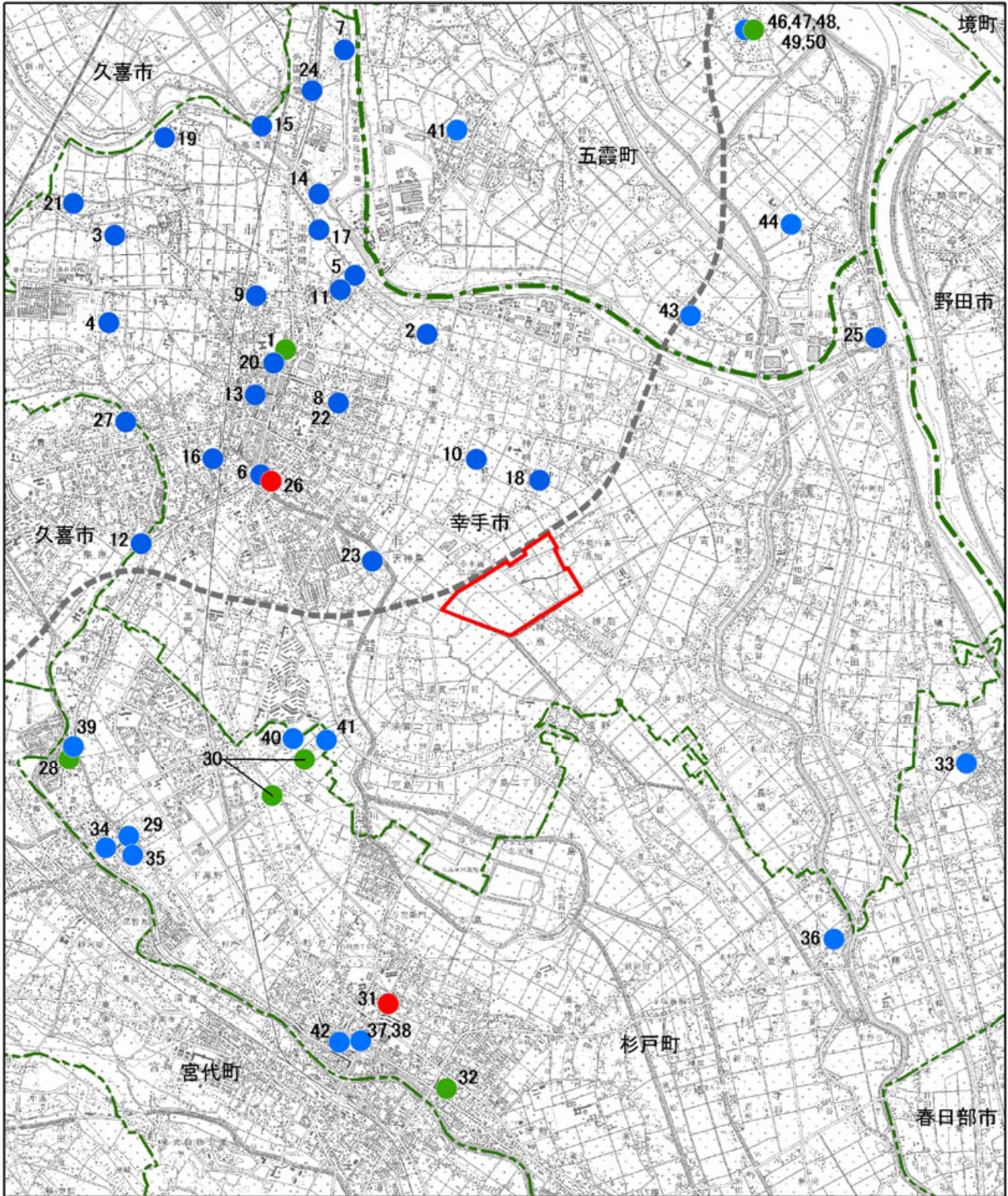

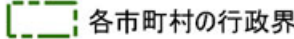


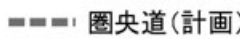




図 3.2.7-1 計画地周辺の指定文化財

凡例

- | | | |
|---|--|--|
|  計画地 |  各市町村の行政界 |  国指定文化財・登録文化財 |
|  県境界 |  圏央道(計画) |  県指定文化財 |
| | |  市町指定文化財 |

資料：「埼玉県所在国指定・県指定文化財件数一覧（平成23年3月時点）」（埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課）
「いばらきの文化財一覧（平成23年3月31日現在）」（茨城県教育庁文化課）
「指定文化財一覧（平成21年4月1日現在）」（幸手市HP）
「久喜市の歴史と文化財（平成23年4月現在）」（久喜市HP）
「杉戸町の教育（平成22年度）」（杉戸町教育委員会）
「五霞町HP-文化財（平成23年4月現在）」

1:50,000

0 500 1,000 m



本図は、国土地理院発行数値地図25000(地図画像)久喜、宝珠花、栗橋、下総境を使用している。

2) 埋蔵文化財

計画地には埋蔵文化財は存在しないが、計画地周辺には表 3.2.7-2、及び図 3.2.7-2 に示すように、幸手市 No.19 遺跡などの埋蔵文化財が分布している。

表 3.2.7-2 計画地周辺の埋蔵文化財(1/3)

番号	遺跡名	種別	時代	所在地
1	槇野地西遺跡		縄文、縄文前期、古墳、古墳前期、古墳後期	幸手市槇野地
2	幸手義賑窮餓之碑		江戸	幸手市
3	陣屋		南北朝	幸手市
4	千塚柴原遺跡	集落跡	奈良、平安、江戸	幸手市千塚
5	幸手市 5 遺跡	集落跡	奈良、平安、江戸	幸手市千塚
6	幸手市 6 遺跡	集落跡	奈良、平安、江戸	幸手市円藤内
7	幸手市 7 遺跡	集落跡	古墳、古墳後期、奈良、平安	幸手市松石
8	幸手市 8 遺跡	集落跡	古墳、古墳後期、江戸	幸手市外国府間
9	幸手市 9 遺跡	集落跡	奈良、平安、江戸	幸手市内国府間
10	幸手市 10 遺跡	集落跡	鎌倉、南北朝、室町、戦国、江戸	幸手市下川崎
11	幸手市 11 遺跡	集落跡	鎌倉、南北朝、室町、戦国、江戸	幸手市中川崎
12	天神島砦跡	城館跡	南北朝	幸手市天神島
13	槇野地北遺跡	集落跡	縄文、縄文早期、縄文前期、古墳古墳前期	幸手市槇野地
14	幸手市 14 遺跡	集落跡	縄文、縄文前期	幸手市槇野地
15	幸手市 15 遺跡	集落跡	縄文、縄文前期	幸手市槇野地
16	幸手市 16 遺跡	集落跡	奈良、平安、江戸	幸手市細野
17	幸手市 17 遺跡	集落跡	奈良、平安、江戸	幸手市惣新田
18	幸手市 18 遺跡	集落跡	奈良、平安、江戸	幸手市惣新田
19	幸手市 19 遺跡	集落跡	鎌倉、南北朝、室町、戦国、江戸	幸手市神明内
20	幸手市 20 遺跡	集落跡	奈良、平安、江戸	幸手市神明内
21	幸手市 21 遺跡	集落跡	鎌倉、南北朝、室町、戦国、江戸	幸手市平須賀、平須賀 1 丁目
22	幸手市 22 遺跡	集落跡	弥生、弥生後期、古墳、古墳前期	幸手市平須賀 2 丁目
23	幸手市 23 遺跡	墓	江戸	幸手市内国府間
24	槇野地原遺跡	貝塚 集落跡		幸手市槇野地
25	平沼遺跡	集落跡	鎌倉	久喜市青毛
26	中島遺跡	集落跡	平安	久喜市青毛
27	一番方遺跡	集落跡	古墳、古墳後期、平安	久喜市吉羽
28	薬師遺跡	集落跡	古墳、奈良、平安、鎌倉、南北朝	北葛飾郡杉戸町下野
29	山合遺跡	集落跡	奈良、平安	北葛飾郡杉戸町下野
30	日光御成街道一里塚		江戸	北葛飾郡杉戸町下高野
31	浅間前遺跡	集跡 城館跡	奈良、平安、鎌倉	北葛飾郡杉戸町下高野
32	宮之下遺跡	集落跡	奈良、平安、鎌倉、南北朝、室町、戦国、江戸	北葛飾郡杉戸町下高野
33	宮之下前遺跡	集落跡	奈良、平安、江戸	北葛飾郡杉戸町下高野

注) 番号は図 3.2.7-2 と対応する。

資料:「埼玉の遺跡マップ」(埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課)

「いばらきデジタルマップ」(茨城県企画部情報政策課)

表 3.2.7-2 計画地周辺の埋蔵文化財(2/3)

番号	遺跡名	種別	時代	所在地
34	堂之下遺跡	集落跡	奈良、平安、鎌倉、南北朝、室町、戦国	北葛飾郡杉戸町下高野
35	杉内遺跡	集落跡墓	奈良、平安、鎌倉、南北朝、室町、戦国、江戸	北葛飾郡杉戸町下高野
36	左内新田遺跡	集落跡	奈良、平安、鎌倉、南北朝、室町、戦国、江戸	北葛飾郡杉戸町下高野・杉戸
37	上杉戸北遺跡	集落跡	奈良、平安、鎌倉、南北朝、室町、戦国、江戸	北葛飾郡杉戸町杉戸
38	上杉戸南遺跡	集落跡	奈良、平安、江戸	北葛飾郡杉戸町杉戸
39	茨島前遺跡	集落跡	江戸	北葛飾郡杉戸町茨島
40	茨島前東遺跡	集落跡	奈良、平安	北葛飾郡杉戸町茨島
41	大島有隣遺跡		江戸	北葛飾郡杉戸町大島
42	大堀向道下遺跡	集落跡	古墳、古墳前期	北葛飾郡杉戸町下高野
43	西谷遺跡	集落跡寺院跡	古墳、古墳後期、奈良、平安、鎌倉、南北朝、室町、戦国、江戸	北葛飾郡杉戸町遠野
44	広戸遺跡	集落跡	古墳、古墳後期、南北朝、室町	北葛飾郡杉戸町佐左衛門
45	豊後遺跡	集落跡	古墳、江戸	北葛飾郡杉戸町清地
46	大堀遺跡	集落跡	古墳、古墳前期	北葛飾郡杉戸町堤根
47	大堀南遺跡	集落跡	弥生、弥生後期、古墳、古墳前期、古墳後期、鎌倉、南北朝、室町、戦国	北葛飾郡杉戸町堤根
48	大堀荒田遺跡	集落跡	古墳、古墳後期	北葛飾郡杉戸町堤根
49	前島遺跡	集落跡	奈良、平安、鎌倉、南北朝、室町、戦国	北葛飾郡杉戸町堤根
50	上椿遺跡	集落跡	古墳、古墳前期、古墳後期、奈良、平安、鎌倉、南北朝、室町、戦国、江戸	北葛飾郡杉戸町椿
51	中椿遺跡	集落跡	古墳、古墳前期、古墳後期、鎌倉、南北朝、室町、戦国	北葛飾郡杉戸町椿
52	下椿遺跡	集落跡	古墳、古墳後期、鎌倉、南北朝、室町	北葛飾郡杉戸町椿
53	幸館遺跡	集落跡貝塚	縄文	五霞町幸主小字幸館 365 外
54	名称不明			五霞町
55	冬木 B 貝塚	貝塚	縄文	五霞町冬木小字台耕地 913 外
56	殿の内遺跡	集落跡	縄文、古墳	五霞町冬木小字殿の内 1748-1 外
57	浮戸遺跡	集落跡	縄文	五霞町元栗橋小字浮戸 2400-2 外
58	山王山貝塚	貝塚	縄文	五霞町山王山小字西新田 902 外
59	西新畑遺跡	集落跡	縄文、近世	五霞町山王山小字西新畑 1033 外
60	勘座下遺跡	集落跡	縄文	五霞町山王山小字勘座下 380-1 外

注) 番号は図 3.2.7-2 と対応する。

資料: 「埼玉の遺跡マップ」(埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課)

「いばらきデジタルマップ」(茨城県企画部情報政策課)

表 3.2.7-2 計画地周辺の埋蔵文化財(3/3)

番号	遺跡名	種別	時代	所在地
61	前原遺跡	集落跡	縄文	五霞町山王山小字前原 816-2 外
62	名称不明			五霞町
63	山王浦遺跡	貝塚	縄文	五霞町江川小字山王浦 3456 外
64	川岸貝塚	集落跡 貝塚	縄文	五霞町江川小字桜井浦 3231-3 外
65	桜井貝塚	集落跡	縄文	五霞町江川小字桜井浦 3308 外
66	土塔遺跡	集落跡	縄文	五霞町江川小字土塔 41-1 外
67	土塔遺跡(江川貝塚)	集落跡	縄文、弥生、古墳	五霞町江川小字橋向 3153 外
68	桜井浦遺跡	集落跡	縄文、近世	五霞町江川小字橋向 3334 外
69	桜井前遺跡	集落跡	縄文	五霞町江川小字桜井前 3839 外
70	丸池台遺跡	集落跡	縄文	五霞町元栗橋小字丸池台 2837-1 外
71	冬木 A 貝塚	貝塚	縄文	五霞町原宿台 3 丁目 2 外
72	池成遺跡	集落跡	縄文、奈平	五霞町元栗橋小字池成 1244-1 外
73	元栗橋下宿遺跡	集落跡	縄文、古墳、奈平、近世	五霞町元栗橋小字下宿 17-1 外
74	仲町遺跡	集落跡	古墳、奈平	五霞町元栗橋小字仲町 55 外
75	田端遺跡	集落跡	奈平、中世	五霞町元栗橋小字田端 1508-1 外

注) 番号は図 3.2.7-2 と対応する。

資料: 「埼玉の遺跡マップ」(埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課)

「いばらきデジタルマップ」(茨城県企画部情報政策課)

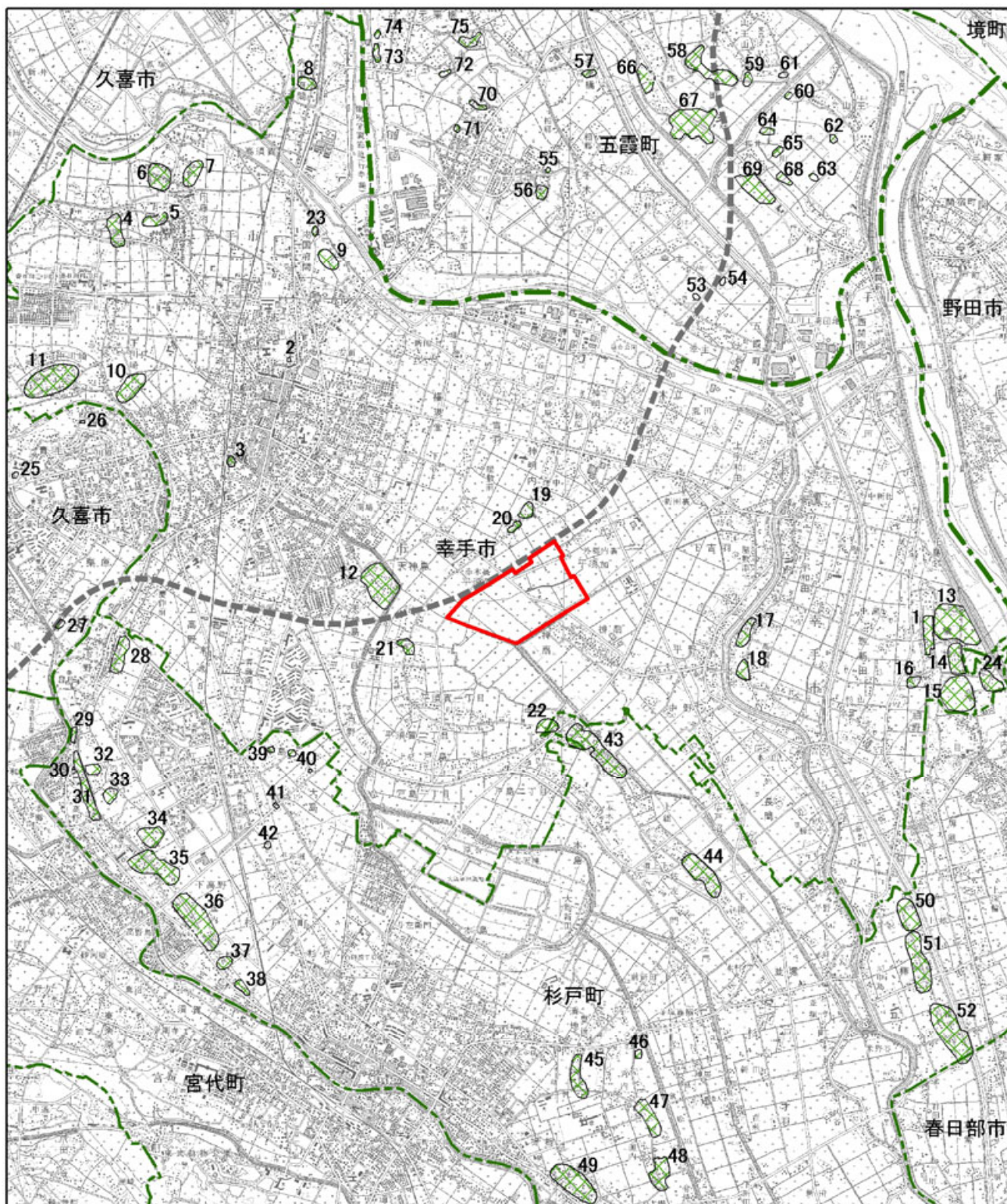


図 3.2.7-2 計画地周辺の埋蔵文化財

凡例

- 計画地
- 県境界
- 各市町村の行政界
- 圏央道(計画)
- 埋蔵文化財

資料：「埼玉の遺跡マップ」（埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課）
「いばらきデジタルマップ」（茨城県企画部情報政策課）

1:50,000

0 500 1,000 m



本図は、国土地理院発行数値地図 25000(地図画像)久喜、宝珠花、栗橋、下総境を使用している。